

平成27年度 第1回 成田市立図書館協議会 会議概要

1 開催日時

平成27年7月30日(木) 午後1時30分～午後3時00分

2 開催場所

成田市赤坂1丁目1番地3
成田市立図書館2階集会室

3 出席者

(委員)

渡邊委員、阿部委員、湯浅委員、大槻委員、野村委員、渡辺委員、矢埜委員、
相原委員、伊達委員及び小川委員

(事務局)

関川教育長、藤崎生涯学習部長、須賀澤図書館長、鏑木館長補佐、
酒井主幹兼管理係長、加野奉仕係長、巻嶋資料係長、清水主任主事

4 議題

- (1) 平成26年度図書館事業報告について
- (2) 平成26年度決算報告について
- (3) 平成27年度図書館事業計画について
- (4) 平成27年度予算について

5 議事(要旨) 議長：野村委員長

会議に入る前に委員へ委嘱状を交付し、委員長に野村委員、副委員長に渡邊委員
が選出された。

○議題(1)「平成26年度図書館事業報告について」及び議題(2)「平成26年度決算報告について」事務局から説明し、承認を得た。

委員 学校関係者の立場として、子どもの読書活動の推進を手厚くやっていただいで感謝している。読み聞かせボランティアが活動している市内の小中学校を把握していますか。また、全2回の受講者の内訳が分かれば教えていただきたい。子どもの利用者数が、公民館ごとにバラつきがあります。蔵書数や開館日が原因なのか教えてください。

事務局 公民館図書室等が14か所あり、予約資料の受渡しのサービスポイントになっています。新しい図書を入れ利用拡大を図っていますが、本館・分館と比べると、利用者が少ない状況です。

公民館図書室でも、約1,200万円の図書購入費を充てています。利用は減ってきていたが、26年度に関しては、14か所の公民館図書室のうち、約半数で利用者数が増加しました。しかし、絶対数が少ないので、今後の課題として、地域全体を含め、再編の検討も必要になってくると考えています。

- 委員 子どもたちが、公民館図書室へ行くようにする対策はありますか。
- 事務局 地域的な問題があります。玉造公民館だと本館が近い、公津公民館だと公津の杜分館ができたことがあります。市民の方から、公民館図書室はいつ行ってもあまり変わっていないとの意見もあります。それぞれの公民館分として、図書購入予算を設けていますので、新刊などが利用者にも分かりやすいように工夫していきます。
- 委員 ある地区の子どもたちは良く利用するが、学区が広く、それ以外の地区の子どもは家から自力でいけないため利用が少ないと思います。児童数も少ないので、学校図書室だけで足りているのではないかと思います。
- 事務局 図書館としても、学校図書館司書と連携し、団体貸出等で支援をしています。
- 委員 ブックリストの本は、本館では展示・貸出されていますが、公民館図書室でもブックリストに載っている本を置いてありますか。未就学児へのおはなし会は、本館は充実していますが、下総・大栄のように交通の便の悪いところで、近くの公民館でもおはなし会を開催してくれれば、本館から遠い地区の子ども参加しやすいのではないかと思います。
- 事務局 ブックリストは毎年発行しており、掲載されている本は、本館を中心に備えています。また、公民館でのおはなし会は現在やっていませんが、今年度学校と連携を図り、おはなし会やブックリストの配置について児童担当含め検討してまいりたいと思います。
- 委員 ブックリスト配付後、次の日から大きい書店では購入する人が多いらしいです。図書館に来なくても、購入して本を読む人もいたり、学校の図書室で購入しないのか等の意見もでているようです。ブックリスト自体は読む上で良い指標づくりになっていると思います。また、他市から聞いた話では、統合で廃校した学校の跡地を、土日に開放して、おはなし会等を行っているとのこと、それも良い方法ではないでしょうか。
- 事務局 「絵本の読み聞かせ講座」については、現在ボランティアを行っている方が参加者の約半数で、残りの半数は60代の方の参加が多く、地域やお孫さんを対象にした読み聞かせを考えている方が受講しています。募集は、読み聞かせを行う意思を持った方を対象にしているため、読み聞かせボランティアの活動及び団体数も把握しておりません。
- 委員 小学校に読み聞かせボランティアがありますが、4月に募集し、軌道に乗るのが6月で、「絵本の読み聞かせ講座」の募集が5月だったため、その時は締め切り後だったが、お願いをして講座に参加させてもらった経緯があります。講座の開催時期をもう少し遅い時期にしたらと、組織が出来上がってくる段階でもう少し参加が増えるのではないかと思います。
- 事務局 学校では、多くの読み聞かせボランティアが活動しているのではないかと思います。子どもたちは読み聞かせが大好きで、保護者に参加依頼をすると読み聞かせに参加はしてくれます。しかし、どのように読み聞かせをするかわからない部分があり、講座に参加させていただき、とても効果的でした。
- 委員 子どもが小学生の時に、図書館の「絵本の読み聞かせ講座」を受講しました。今は、読み聞かせボランティアを毎年募集するが、集まらない状況にあります。興味があっても保護者が何をしたら良いか分からなかったり、入学と同時に働きにでようとする保護者もいたり、タイミングがなかなか難しいところがあるのかと思います。広報なりには、「絵本の読み聞かせ講座」の

お知らせが掲載されますが、たとえば、学校から講座開催のお知らせのチラシを配布してもらえばいいのではないかと思います。

事務局 学校等、周知の方法について、次年度以降、絵本の読み聞かせ講座の回数・時期を検討していきたいと思います。

○議題（3）「平成27年度図書館事業計画について」及び議題（4）「平成27年度予算について」事務局より説明し、承認を得た。

委員 成田山門前町研究事業の調査経過等について伺いたい。

事務局 成田山門前町研究事業について、きっかけとしては、その当時のことを知っている人が高齢化していて、その記憶を持ったままで何もしないのはもったいないと思い、事業を始めていきました。調べていく上で、果たして記録として残すのは必要なのか、しかし、事実として残すのは必要だと思うが、公表するかはまだはっきりしていない部分もあります。成田のこういう時代に何があったかを記録に残すという趣旨で、今、最終的にまとめています。

委員 成田山門前町研究事業について、今年度で終了するということですが、いつからの事業になりますか。

事務局 24年度後半から事業を開始し、25年度から27年度に本格調査をしています。今年度いっぱい聞き取り調査等をして、最終的に報告書をいただき、それをどうしていくかは、次期実施計画の中で、企画担当課と協議していきたいと思います。

委員 子どもの読書推進事業について、26年度と今年度を比較した時に、ブックリストの配付はしていますか。また、ブックスタートはブックリストと合わせてやりますか。

事務局 今年度もブックリストの配布をしています。ブックスタートは、ブックリストと合わせて行っています。

委員 歴史書・料理等のブックリストは無いかと、希望として他の方からありました。読み聞かせやストーリーテリングの研修は、だいたい何人位でやるものと考えていますか。

事務局 実演を伴う講座・研修のため、1回につき20～30人程度が理想です。

○その他

委員 障がい者が図書館を利用する際に、車を裏口に駐車させ、インターホンを使い職員を呼び利用しています。自由に利用できず職員に手間を取らせてしまっているという声があります。他市では、点字ブロックで駐車場からエレベータで受付まで行けるので、成田市として何か改善できないかと思います。

事務局 駐車場が上側で、階段を使用しなければ利用が出来ない状態です。構造的に改修が難しいのが現状で、利用者も気にしないで利用していただきたいと思います。何か、いい方法があればとは、前々から意見をいただいております。

委員 学校では、学校図書館司書が団体貸出をしてきてくれるが、学校図書館司書には負担をかけていると思っています。学校図書館司書の負担を減らすためにご協力をお願いします。今年度、使用する教科書が変わり、小学校1年生から図書館について掲載されています。あって当たり前の図書館が、学習に

- 役立っている学校図書室とつながっている公共図書館だということを理解し、子どもがもっと利用するのではないかと思います。ぜひ、学校と図書館をつなぐ何かがあればお願いします。
- 委員 本を選んでいるとき、椅子の半分のスペースで、ちょっと高めの机みたいなのがサイドにあれば嬉しいです。大学の図書館には書庫の横に選べるスペースを配置しています。本を読み比べできるちょっとしたスペースづくりをお願いしたいです。30年前は、通路も広く使いやすかったが、ほかの図書館ができていくと、古さが目立ってきてしまい、十分に機能はしているが、より機能してもらうように改修を進めて欲しいと思います。大きな本屋は、立読みをする人が前提で広めのスペースを取っています。トイレに関してもゆったりと作られていて、好感度が上がるので期待しています。
- 事務局 与えられた条件で、どれだけ利用者を満足させられるかが、私たちの使命です。しかしながら、老朽化が進む中で、去年は屋上防水改修工事を実施しました。公津の杜地区にも複合施設ができました。分館の利用者数も多く、少しは利便性が図れたと思います。
- 委員 蔵書数100万点のうち、障がい者用の音訳図書が自分の知る限り694タイトル位で、成田の利用者は遠慮しているのか、なかなか貸出ししない状態です。もし、身近な方で障がい者用の図書の貸出を希望する方がいたら、遠慮なく登録して貸出をして欲しいと思います。私たちが活動を始めたのが、図書館が開館して2、3年経った頃からでした。そこで言われたことが、「公共図書館におけるサービスは、点字図書館とは違って誰にでも同じ目線でサービス提供できる」と強く言われました。新人の育成もしていますので、研修では厳しく指導をして育成をお願いします。
- 事務局 録音図書については、年間25タイトルを目標に作業を進めていますが、高度な技術が必要なため、講座終了者に均等にお願いすることもできない状況がありますが、タイトル数は増やしていきたいと思っています。
- 委員 リピーターが多い図書館になっていると思います。新しく図書館を利用するのは、学校で調べものをして、何人かで初めて図書館に来る人が多いと思います。図書館を利用してもらうように、それぞれのニーズに合ったかたちで、図書館にいろいろな努力をして欲しいと思います。
- 事務局 色々なご意見をいただきました、短期的に対応できること、計画的に対応していくことがあります。前向きに検討してまいります。

6 傍聴

- (1) 傍聴者
1人

7 次回開催日時(予定)

平成28年1月下旬又は2月上旬